

Menu

1. 腹腔鏡トレーニングセミナー報告
2. 専門医への道part.5
3. 第一回コーチングセミナーを開催します

1. 腹腔鏡トレーニングセミナー参加報告

外科専門医養成プログラムコースの先生が平成23年3月5日～6日にジョンソン・エンド・ジョンソンのエチコン研究センターで生体（ブタ）を使っての腹腔鏡下手術のトレーニングに行ってきました。



参加者の感想 part1



3/6福島県郡山にて腹腔鏡トレーニングセミナーに参加してもらいました。3-4人グループでチームを編成し、豚を使った腹腔鏡手術を施行。我々のグループは胆嚢摘出術、Nissen手術、小腸部分切除術、結腸部分切除術を行いました。

ポートの挿入から臓器を実際に鉗子で把持し切除していく工程を実際に行ってみると難しい場面も多くありましたが指導の先生のアドバイスのもとに無事全行程を終了することができました。1日のトレーニングコースでしたが非常に有意義な時間でした。

参加者の感想 part2

腹腔鏡手術のトレーニングをする機会がなかなかないので、今回の経験は非常に役に立ちました。腹腔鏡手術は、開腹手術と比べて止血などの操作も難しく、実際の腹腔鏡手術を術者として経験する前に練習できたので、よかったと思います。今回のトレーニングの1週間後に腹腔鏡胆嚢摘出術の術者をさせてもらったのですが、トレーニングをしていたおかげで鉗子の動かし方などがスムーズにできたのではないかと思います。このトレーニングを企画していただいた多くの人に感謝します。



今後も開催予定です。
興味のある方は専門医養成支援センターまでご連絡ください。



2. 専門医への道 part.5

富山大学 小児科 伊吹圭二郎先生（平成15年卒）

小児科に入局して8年がたちました。現在の初期臨床研修システムが出来る前の年だったので、大学卒業後すぐの入局でした。初めの1年は小児科病棟で、2年目最初の3ヶ月は他科ローテとして小児心臓外科、次の3ヶ月は再び小児科研修としてNICUを経験しました。その後は黒部市民病院、県立中央病院、糸魚川総合病院で一般小児科の勉強でした。病院は規模や地域によってそれぞれ役割が異なり、そこで働く小児科医の仕事も異なります。外来と病棟では診る疾患も変わってきます。様々な立場で、多くの症例を経験することが出来るのは医局のよいところだと思いました。そのお陰で、小児科専門医の取得には幅の広い症例経験が必要ですが、6年目でスムーズに取得することが出来ました。

現在は小児循環器を専門に勉強しています。大学院の研究を行いつつ心臓カテーテル検査をしたり、兵庫県までヘリ搬送したり、移植のためアメリカまで患者さんを連れて行ったり・・・なかなか出来ない経験をさせてもらっています。さらに小児循環器道を進むためには新生児の知識も必要不可欠ですが、自分は卒後7年目の1年間、NICUでの研修を追加したことが新生児を診る自信になっています。専門医というのはあくまで肩書でしかありません。「専門医」になることが目的であってははいけません。大事なことは専門医を取得するだけの知識と技術を身につけ、その名に恥じないプライドを持った医師になることだと思います。そして、その過程を大切にしていくことが重要なのだと思います。まだまだ医師として（人間としても？）未熟ですが、専門医制度を利用しつつ、自分を高めていければよいなと思っています。



3. 第1回コーチングセミナーを開催します 事前登録制！

日時：5月25日（水）17:30~19:00

場所：共同研究利用棟6階 会議室

講師：田口 智博 先生 三重大学医学部附属病院総合診療科 助教

研修医や後輩の指導を中心とした『コーチング』の有用性を体験するワークショップセミナーを開催いたします。

講師には、PHP研究所上級認定コーチでもあり、自らも総合診療科の医師として研修医や後輩の指導を行っていらっしゃる田口 智博先生をお招きします。

当日はロールプレイやグループディスカッションを予定しているため、参加御希望の場合は**事前登録制**にいたします。

医師、看護師、コメディカル、学生など、**どなたでも参加できます**ので、参加を希望される方は下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

※なお、事前登録されていない場合はロールプレイ等には参加できませんが、聴講することはできますので、是非お越し下さい！

【お問い合わせ先】

専門医養成支援センター（内線7038）

E-mail: senmoni@med.u-toyama.ac.jp

